

【単元を貫く問い】 どんな文章を書けば6年生に納得してもらえらるだろうか。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

[第1学年及び第2学年]

- ・思い出して書こう
- ・この人をしょうかいします
- ◆語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること
- ◆目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

粘り強く、自分の考えを支える理由を整理し、順序や書き表し方を工夫して、読み手に納得してもらえらる文章を書くことができる。

単元終了時のめざす児童の姿

- ・自分の考えがどのような理由によって支えられているのか、またその理由で相手に納得してもらえらるかを吟味している姿
- ・自分の考えとそれを支える理由の関係性が明確になるように、「なぜなら」「その理由は」など、理由を明確にする表現を用いて文章を書く姿

知識及び技能

- ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア

思考力・判断力・表現力等

- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。B(1)イ
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。B(1)ウ

この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)

[第4学年]

- ・「ふるさとの食」を伝えよう
- ◆自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること

[第5学年及び第6学年]

- ・反対の立場を考えて意見文を書こう
- ・世界に目を向けて意見文を書こう

[中学校第1学年及び第2学年]

- ◆根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること
- ◆根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること

他教科等との関連

- ・理科 予想とその理由を伝える

言語活動

6年生にファミリーレクで取り入れてもらいたい遊びを提案するための文章を書く。

【1時間】

- ファミリーレクでやってみたい遊びを出し合い、6年生に提案するための文章を書くという学習課題を確かめ、単元計画を立てる。【主】

【5時間】

- ファミリーレクでやってみたい遊びを調べ、自分の考えを持つ。【主】
- 自分の考えを支える理由を書き出し、相手に納得してもらえらる理由を選ぶ。【知】
- 自分の考えとその理由をどのように順序立てて書くか考える。【思①】(本時)
- 自分の考えとその理由を順序立てて文章を書く。【思②】【主】
- 自分の文章を読み返し、推敲する。【主】

【1時間】

- 自分や友だちの書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。
- 学習を振り返る。

見方・考え方を働かせている児童の姿

・この単元での文章を書く相手や目的を理解し、学習の見通しを持っている。

・相手や目的を意識し、情報を収集している。

・自分の考えとそれを支える理由を図や表を用いて整理し、相手に納得してもらえらる理由を吟味している。

・説得力のある文章にするために、段落と段落の関係に気を付けて文章の構成を考えている。

・「なぜなら」「その理由は」など理由を示すことを明確にする表現を用いて記述している。

・相手や目的を意識し、構成や書き表し方が適切なものになっているか確かめている。

・読み手を納得させる文章になっているか、文章の内容や表現について感想や意見を伝え合っている。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	① 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ ② 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して。B(1)ウ	・文章を書く目的を理解し、相手に納得させるために、粘り強く情報を集めたり、構成を考えたり、書き表し方を工夫したりして、説得力のある文章を書こうとしている。

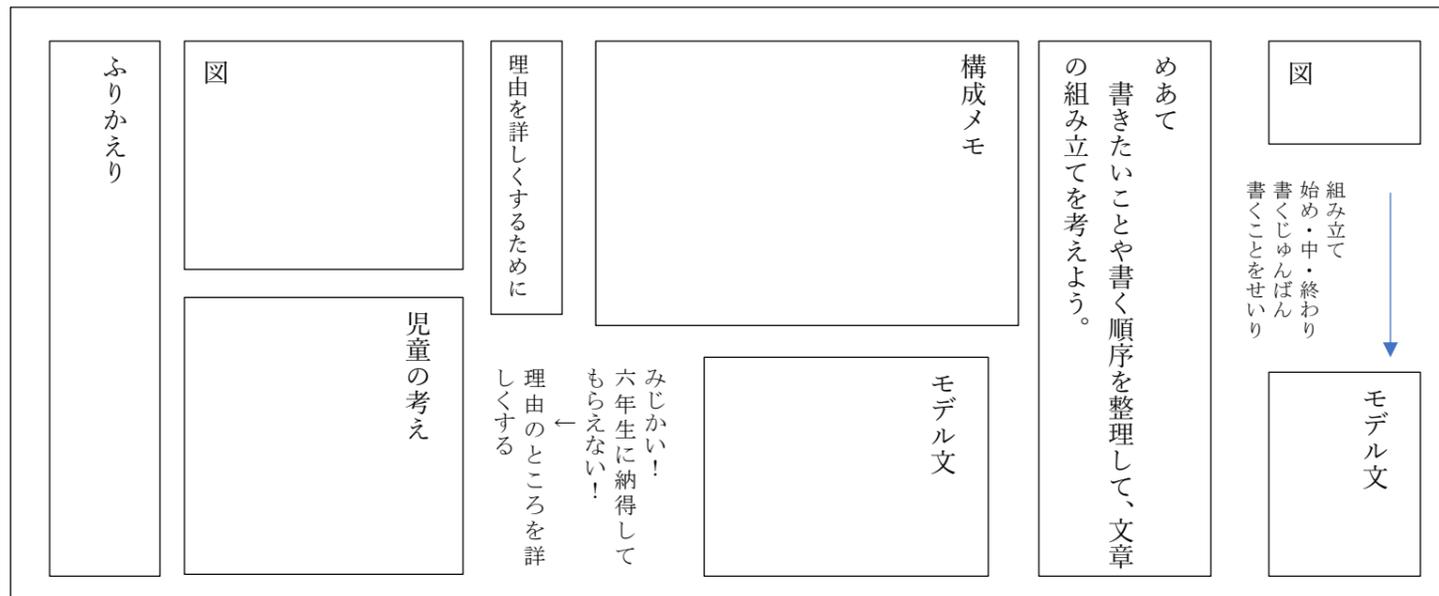
児童の実態と指導観

本年度4月に行った標準学力調査において「経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書く」の正答率は56%（目標値50%）「自分の思いや考えが明確になるように、文章を書く」の正答率は50%（目標値の45%）であった。どちらも、目標値を上回っているものの、正答したのは半数程度であり高い数値となっていない。また、「授業アンケート」で「国語の授業がよく分かる」と回答した児童は、55%であることや市販のテスト、課題プリント等からも、書くことだけでなく、読むことや言葉についても学習課題のある児童が多いと感じている。

本単元では、「6年生にファミリーレクで取り入れてもらいたい遊びを提案する文章を書く」を言語活動として設定した。導入の際には、児童が大好きな学級レクなどを想起させることで、「自分の提案した遊びをやってもらいたい。」「6年生を説得できる文章を書きたい。」という意欲を高めた。また、自分が提案したい遊びについて情報を集める時間を確保することでその遊びの良さを見つけ、理由へとつながるようにする。その際、図を使い、思いついたことから連想し、発想を広げられるようにしていく。いくつかある理由の中からより相手を説得できる理由を選び、文章を組み立て、文章を書いていく。書く際には、教科書の例文を頼りに「なぜなら」「その理由は」など理由を示す表現を用いて、自分の考えとそれを支える理由が明確になるように書くよう指導する。児童が「書きたい」「書けそう」と思い、前向きに活動できる学習過程にしていきたい。

**【本時の目標】** 6年生に納得してもらえ文章を書くために、自分の考えとそれを支える理由を明確にし、文章の構成を考えることができる。 ( 4 / 7 )

**【本時における言葉による見方・考え方】** 自分の考えやそれを支える理由を明確にすることで、それに関わる書きたい事柄を明らかにし、内容のまとまりをつくっていく。



六年生のみなさんへ  
わたしは、ファミリーのレクで、ポッチャをするよと思っています。その理由は二つあります。  
一つ目は、ポッチャはルールがかんたんだからです。ポッチャはチームでたたかう遊びで、ちえを出し合ってたたかえるので一年生から六年生までみんなが楽しめると思います。  
二つ目は、ポッチャはじゅんぴが楽で教室やホールでもできるからです。ポッチャに使うものはボールだけで、コートもいりません。せまい場所でもできるので教室やホールでも十分楽しめます。  
このような理由から、わたしは、ポッチャはファミリーのレクにぴったりの遊びだと思います。

**◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫**  
自分のおすすめの遊びをファミリーのレクに取り入れてもらうために6年生を説得したいという気持ちを高め、相手や目的意識を持たせることで単元を通して主体的に取り組むことができるようにしたい。  
本時においては、自分が選んでいる理由だけでは、6年生を説得することはできないという課題意識を持たせることで、主体的に活動したり、自然に対話が生まれたりするようにしていきたい。

**◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て**  
モデル文で書かれている内容を確認することで、内容のまとまりを意識させる。  
自分の考えとそれを支える理由を明確にすることで、それに関わる書きたい事柄を今までに集めた情報の中から選ばせたり、新たに見つけさせたりする。

前時の振り返り・本時のめあての共有	全体	個人活動・全体共有	まとめ・振り返り
<p>1 ゴールや付けたい力、前時までの学習を確認し、本時の見通しを立てる。</p> <p>T この学習のゴールはなんでしたか？ C 「6年生に自分がやりたいレクを提案する文章（意見文）を書く」です。 T そのために自分の考えと理由を整理して書く力をつける学習をしているのでしたね。今日は、何をしますか？ C 文章を書く前に、組み立てを考えます。 T 「組み立てを考える」ってどんなこと？ C 始め・中・終わりのことです。 C 始めにこれかいて…次にこれ書いて…とか順番考えることです。 C 書くことを整理することです。 T では、今日は何を書くか、書くことや順番を決めればいいのですね。</p> <div data-bbox="133 1470 831 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 書きたいことや書く順序を整理して、文章の組み立てを考えよう。</p> </div>	<p>2 モデル文で文章の組み立てを確認し、組み立てメモを書く。</p> <p>T 文章は、「始め・中・終わり」で書きますね。さあ、始めには何を書きますか？ C どんな遊びがしたいか？先生の文はそうなるよ。 C 中は理由が書いてあります。 C 終わりがまた考えになっています。 T 始めに考え書いて、また終わりに考え書く？ C 始めにも終わりに書いた方が6年生に伝わるんじゃない？ C 終わりは「お願いします」って書いても良さそう。 T じゃあ、先生ならこんな風に書けばいいですね。みんなも書きましょう。</p> <p>3 課題を共有する。</p> <p>T できましたか？完成？これで文章書けそう？ C 何だか短くない？ C これだけじゃ6年生に納得してもらえなさそう。 T どこをもっと工夫すれば6年生を説得できるのかな？ C 理由のところ？もっと詳しくしたらいいかも。</p>	<p>4 説得力が増すように、理由を詳しく書き足す。</p> <p>T では、6年生が「この遊びやってみよう！」ってなるように理由の部分詳しく付け足してみよう。 C 「おもしろいからです。」にどんなところがおもしろいのかを足して詳しくしよう。 C 遊ぶために何が必要か書いて、準備物があまりいらぬことをアピールしよう。 C 詳しくする方法がわからない。どうやって増やせばいいのかな。 C 私は、図のときに書いたことから選んだよ。</p> <p>T 悩んでいる人がいるので助けてあげてほしいです。（悩んでいる児童を取り上げ、詳しくする方法をいくつか共有する） C 図に書いたことを使えばいいのか。 C ○○さんのまねしよう。</p> <p>T 「良くなったな」と思う人に紹介してもらいたいです。 C 「1年生から6年生まで楽しめるからです」のところルールが簡単で分かりやすいことを付け足して、詳しくなりました。 T 説得力は増しましたか？ C はい。</p>	<p>4 学習を振り返る</p> <p>T 6年生に納得してもらえようにどんな工夫をして組み立てを考えましたか？ C 理由を詳しく書いた方が6年生に考えがしっかり伝わる。 C 始めに考えを書いて、終わりにも考えを書いた方が、やってほしい気持ちが6年生に伝わると思います。</p> <div data-bbox="2285 1375 2834 1638" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;本時で目指す児童の姿&gt; 6年生を説得する文章を書くためには考えと理由を書く順序が大切なことや理由をくわしくすることの必要性を理解し、よりよい文章にしようとする姿</p> </div>
<p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書く目的や相手は常に意識できるよう、絶えず確認する。</li> <li>「組み立てを考える」とは何か、何のためにするのかを確かめ、必要感や見通しを持たせてから学習に入るようにする。</li> </ul>	<p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>始め・中・終わりに書く内容をモデル文から確認する。</li> <li>図から選んだ理由だけでは、6年生を説得するには足りないことに気付かせ、理由を詳しくする必要性を感じさせる。</li> </ul>	<p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>困ったときは自由に話してよいことを伝え、必要感のある対話ができるようにする。</li> <li>今までに集めた情報の中らつながりのある情報</li> </ul>	<p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説得力のある文章にするために今日学んだことを振り返るようにさせる。</li> </ul>
<p><b>【思①】（評価方法）</b> 自分の考えやそれを支える理由を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えている。</p>			